

里山に初秋の彩りを探して

2013年9月28日(土) 天候:快晴 「やや健脚コース」 17km

集合:小田急線「渋沢駅」10時

参加者:リーダー吉野さん 計26名

コース:渋沢駅・・・桜土手古墳公園・・・八幡神社・・・金剛寺・・・実朝首塚・・・波多野城跡
・・・名古屋・・・加茂神社・・・弘法山・・・菅原神社・・・石座神社・・・鶴巻温泉駅

今日は抜けるような青空で絶好のウォーキング日和、このところ秋の気配も深まったこともあって、小田急線の車内もハイキングスタイルの人々が結構乗っていました。今までは「健脚コース」と聞いただけで参加を見送っていましたが、今回は「やや」が付いていたので参加しました。爽やかな空気をいっぱい吸い込んで歩く道には、彼岸花が咲き目を楽しませてくれました。ここ秦野盆地は、古代より農業の発達により人々が集落を作った地域で、多くの古墳が点在したことからして、快適な暮らしがしやすい場所だったと思われます。コースの途中には開発中の住宅地があって、現代人にとっても住環境に最適な地域なのでしょう。極端なアップダウンは少なかったものの、距離が長かったこともあって少々疲れしました。

レポート:小島



初めて降りた小田急渋沢駅。



歩行者デッキから山々が見渡せます。さあ歩くぞ！



桜土手古墳公園で・・・



五十嵐さんによる“内容の濃い”ストレッチです。



リーダーからコースの説明です。

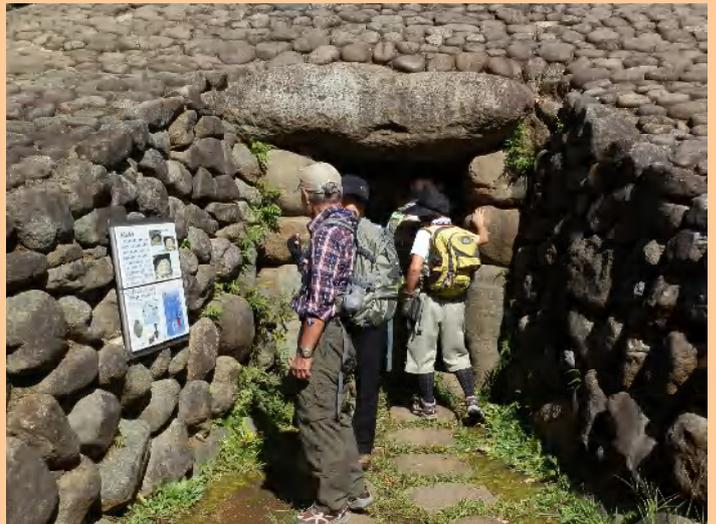


遅れて到着の青松さん。どう、分かる？



古墳発掘調査の後、当時の姿を再現したものです。

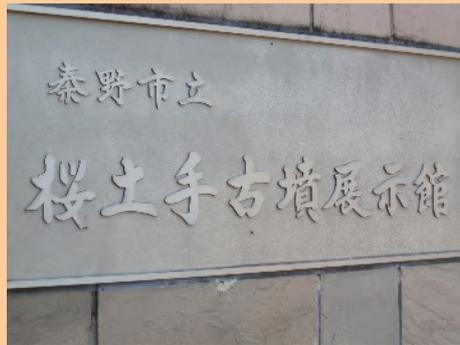
※秦野盆地に造られた多くの古墳は、住宅・工業団地等の開発で、その殆どがなくなってしまったが、そのいくつかは公園として保存されている。貴重な遺跡は是非後世まで残してもらいたいものです。



入り口。内部は狭いものの10人くらいは入れます。



Vサイン、ここではマズイのでは。



展示館で係りの方から説明を受けましたが、古代の人は凄いですね。





住宅地に出ました。遥かなピークは大山あたりでしょうか。



山裾の墓地には彼岸花が・・・故人も秋を感じている？



香雲寺。天正19年家康から寺領5万石を得ています。



境内にも彼岸花。



美形のお地藏様です。これは誰かに似ているような・・・



と思ったら、女性陣は無人販売に吸い寄せられて。



八幡神社です。京都岩清水八幡宮より勧請され、西田原地区の氏神となっています。



本殿。



境内は結構広いですね。



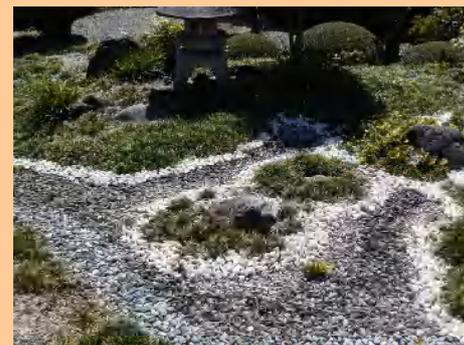
おや、この人は…寺ガール？



道端にはコスモスが。



屋根の上から…庭を見ていかないか！



すべてご主人の手作りとのこと。



庭も立派ですが石垣にも拘りがあるようです。



うちの方が広いぞ！ 誰？



金剛寺に到着しました。



境内は大変綺麗に整頓されています。

※元は小寺だったものが、鎌倉時代に源実朝の御首(みしるし)を埋葬したことに始まる。

本堂には実朝の像が安置されています。



銀木犀。花言葉は「初恋」！ 昔に帰りたい・・・

庭園には彼岸花とお地藏様が・・・異空間！



源実朝公の御首塚入り口。

フムフム・・・なるほど。

これが御首塚です。



田原ふるさと公園。ここで昼食タイムです。

その前に早速買い物ですか？ 安いわね・・・



日陰を求めて芝生の上で。女性陣は色々持ってきますね。



こちらは東屋で。



羨ましい光景です。



柿と白雲と瓦屋根。まさに「里の秋」ですね。



昼食を終え里山をいきます。左右の畑には秋がいっぱい。



彼岸花と稲穂の競演。もうすぐ刈り取りでしょうか。

※彼岸花:お彼岸の頃に開花するので、彼岸花と呼ばれています。

また曼珠沙華とも呼ばれ、梵語の「赤い花・天上の花」の意味でおめでたい兆しとされているそうです。

花言葉は「悲しい思い出」「想うはあなた一人」「また会う日を楽しみに」
悲しさとロマンを感じさせる花と言えますね。



振り向けば富士山が・・・まさに里山の風景です。でも雪のない富士山は何故か威厳がないですね。



珍しい消防信号。



波多野城跡ですが...



こんな碑しかありませんでした。



路傍の道祖神。仲むつまじい姿ですね。



やっと弘法山の案内板が。もうすぐです。



「ながぬき」とは、とても読めません！



案内板が完備されていて安心です。



珍しい白ハギも咲いていました。



加茂神社に到着。



小休止の後、いよいよ弘法山へ。



本日初の登りです。陽もやや傾いて・・・



もう少し、最後の登りです。



弘法山に到着。全員よく歩きました。





皆さんほっとした表情で、暫し休憩です。

おや、何ですかこの二人は？その先は崖ですよ。



弘法山のプレート前で集合写真。秋の日差しを浴びて皆さん爽やかな表情です。

※隣の権現山、浅間山とともに弘法山公園となっており、まとめて弘法山と呼ばれます。

弘法大師がこの山で修行をしたという古事に由来。春は多くの花見客で賑わう所です。



さあここからは一気に下ります。足元注意！



途中から見た秦野市ですが、やはり緑が多いですね。



リーダーは感想文を書く人を物色中！果たして誰に。



♪大きな栗(?)の木の下で・・・大人の遠足です。



菅原神社を経て・・・



新興住宅地を抜け・・・



刈入れした稲と彼岸花を見ながら。



石座神社でクールダウン。



極楽寺の前を通り・・・



鶴巻温泉駅に到着。ここで解散です。

アフターは駅前の店で。貸切りなのでゆっくり出来ました。



アフターは1時間半と言うことで、勅使河原さんの“閉会の辞”でお開き。皆さん身体も肝臓も・・・お疲れさまでした！

※青空で始まり、青空で終わった最高の一日でした。初めての健脚(やや)でしたが、弘法山以外は舗装道路だったので歩きやすく、疲れましたが思ったほどではありませんでした。今回のテーマ「里山の秋」を十分味わうことが出来た上、女性陣は地元野菜の直売に目の色を変えてバックに詰め込んだりと、何かと内容のある充実コースだったと思います。解散場所の鶴巻温泉駅では、アフターに行かずに立ち寄り湯に向かった方がいましたが、そんな楽しみがあるのもウォーキングの良いところかも知れませんね。何はともあれ一人の落伍者もなく終えたのはさすがKWCでした。皆さん大変お疲れさまでした！